

## 小磯修二氏が JICA 理事長賞を受賞

### － 北海道開発の経験を途上国に伝えた貢献 －

国際協力機構(JICA)では、毎年、国際協力事業を通じて開発途上国の人材育成や社会発展に多大な貢献をされた個人・団体に対し、その功績を讃え、表彰しています。

第16回を迎える今年度は、小磯修二氏(公益社団法人北海道観光振興機構会長、北海道大学公共政策大学院客員教授、一般社団法人地域研究工房代表理事)が理事長賞を受賞することが決定しました(注:道内からは、小磯氏の他、2団体が受賞)。

小磯氏は、当時の北海道開発庁(現国土交通省)に入庁後、長く北海道開発行政に従事し、1990年に初代の国際室長に就任後、行政の側から北海道における国際協力を牽引されました。同国際室は、JICA 北海道との連携の下、北海道が強みを有する地域開発をテーマとした各種研修コースを運営(注:その功績により、北海道開発局は団体として2007年にJICA 理事長賞を受賞)し、小磯氏も講師として多くのJICA 研修員(開発途上国の行政官等)に北海道における開拓、開発政策の経験を伝えてきました。

1999年に退官後、研究者に転じてからは、JICA の要請を受け、ウズベキスタンやキルギスなどの独立間もない中央アジア諸国で地域開発政策に関する専門家として日本の経験(一村一品アプローチなど)を伝える知的支援活動を行い、また、地域開発をテーマとしたJICA 研修のコースリーダーとしても国際協力に貢献されました。



(ウズベキスタンでの地方調査(2003年)の様子。一番右が小磯氏)

- \* オンライン形式での表彰式を、10月15日(木)に開催します。取材の参考として視聴をご希望の方には、後日、録画映像を共有します(なお、映像・写真を報道に活用いただくことは難しい旨、予めご了承ください)。
- \* 今年度の理事長賞の全対象者については、JICA ウェブサイト(<https://www.jica.go.jp/>)上で公開しています。

【本件に関する問合せ先】

JICA 北海道 市民参加協力課 (中野)

Tel. 011-866-8421 E-mail: Nakano.Satoshi2@jica.go.jp